

4月からプラスチックゴミの分別収集がスタートします。

同じ市民として許せない★

文化環境委員会では、この春から「プラスチック製品も分別収集をスタート」するにあたり、伏見区にある京都市横大路学園を視察しました。

ここは、障害者総合支援福祉法(雇用契約に基づく就労が困難な方の就労の機会等の提供)と廃棄物処理法(容器包装リサイクル法)に基づき収集したプラスチック製容器包装の中間処理施設)に関する施設として、昭和62年の空き缶再資源化施設からはじまり現在運営されているものです。

京都市のプラスチック製容器包装の約3分の1がここで処理されているのですが、(写真中段の通り)以前視察した時と同様、今なお刃物や注射針など作業員にとって大変危険なものがプラスチック製容器包装と同じ袋で捨てられています。間違っ

て混入したとは考えられず、しかも写真は約1ヶ月分なのです。春から容器包装だけでなくプラスチック製品も分別収集されますが、一人一人のモラルが問われています。



当報告会の記事は、すべて「寺田一博のフェイスブック」より引用しています。

文化環境委員会

路上喫煙等に関する条例が11月に改正されるとの答弁がありました。わかりにくいと指摘していた「禁止区域」の表現を見直すこととなりますが、同時に喫煙所を増やした上で、わかりやすく周知することも求めました。また大型ゴミの収集について、現在は電話による申請のみですが、インターネットによる受付もできるよう提言しました。

提言して時間のかかるものや比較的早く実現するものなどさまざまですが、「政策実現力」をこれからも活かせるよう頑張ります！



大学生に、ゴミ処理について考えてもらいました。

今年度の担当常任委員会は「文化環境委員会」です。本日、年度最初の委員会なので、環境政策局にはゴミ減量やまち美化事務所の統合等について、文化市民局には地域コミュニティ活性化について、それぞれ質疑しました。昨年動画を公開しましたが、「若い世代にゴミ減量の必要性を伝える」ことも提言しました。

市民の皆さんや事業者の皆さんのご理解とご協力により、政令市はもとより人口50万人以上の都市において一人あたりのゴミ排出量が最小になるなど成果を上げています。今年度もしっかり提言して参ります。



YouTube はじめました！



YouTubeで議会の??発信しています。

令和4年2月28日の代表質疑から、多くの提言が実現しています。

コストの見える化を推進

改革には市民理解が不可欠

市民福祉の向上・危機管理・安全を

寺田一博議員

■寺田一博議員(質疑) 市民生活に影響のある入場料や使用料、手数料の見直しなど多くの提案がなされています。議会の承認を得るためにも、市民の皆さまへ分かりやすいコスト表示を求めます。行財政改革を進める上で最も重要なのは、市民福祉の向上と危機管理や市民の安全を守ることを優先させることです。また、何より市民の皆さまのご理解が不可欠です。そのためにも分かりやすい指針を示す必要があります。財政健全化等に関する条例については計画策定を明確に位置付ける条例を制定する必要があるのではないのでしょうか。

■門川大作市長(答弁) 行財政改革の推進には市民の皆さまのご理解とご協力は欠かせないことではございません。公費負担と受益者負担のバランスを市民の皆さまにご理解いただく



京都市会で議論されていることなどについてご存じですか?(○をつけて下さい)

1. 4月からプラスチック製品も分別回収されることを知っている	はい いいえ
2. こども相談24時間ホットライン#7333が昨年度開設されたことを知っている	はい いいえ
3. 子ども医療費自己負担額が小学生まで1ヶ月1500円から1ヶ月1医療機関200円に変更される方針が示されたことを知っている	はい いいえ
4. 京都市とウクライナのキーウ市(締結時はキエフ市)が姉妹都市であることを知っている	はい いいえ
5. 京都市にはキーウ市を含む9つの姉妹都市があることを知っている	はい いいえ

るよう行政コストの見える化をより一層推進してまいります。行財政改革の必要性や理念、財政運営の目標を明記した計画の策定を条例に位置付けるなど、京都ならではの改革を確実に継続できるように検討し取り組んでまいります。

■寺田一博議員(質疑) 新型コロナウイルス感染症について、現在はワクチンの3回目接種が急がれます。年度末までのワクチン必要数は確保されていると伺っていますが、今後の見通しについてお

■門川大作市長(答弁) 接種体制は、医師会、私立病院協会、看護協会等と連携し、国の目標である1日100万回達成に必要な接種回数を継続して確保できるよう接種の加速を図っております。また小さな子どもに対しては、強制ではなく発育状況や体調に留意する必要があると分かります。情報発信します。

■寺田一博議員(質疑) 西

■門川大作市長(答弁) 接種体制は、医師会、私立病院協会、看護協会等と連携し、国の目標である1日100万回達成に必要な接種回数を継続して確保できるよう接種の加速を図っております。また小さな子どもに対しては、強制ではなく発育状況や体調に留意する必要があると分かります。情報発信します。

■寺田一博議員(質疑) 西

■門川大作市長(答弁) 会館の良さは継承しつつ、文化スポーツ・健康づくり、地域コミュニティ、西陣活性化の観点から周辺地域の回遊性を高めるための提案を公募型プロポーザルにより幅広く募ります。

市民の皆さんからのご意見 一部紹介

- ・無電柱化をもっと進めるべき
- ・きもの産業が消滅寸前、なんとかして欲しい
- ・障がいのある子どもたちが幸せに暮らせる地域社会を

前回の京都寺友会通信(拡大版)のミニアンケート集計結果

1. 門川市長の1期目(平成20年)に「京都市はあと3年で財政再生団体になる」と言われていたことを知っている。	66%	34%
2. 450ゴミ袋の処理コストが、10年前は287円、平成29年は244円ということを知っている。	23%	77%
3. 昨年、台南市、高雄市と京都市が友好交流協定を締結したことを知っている。	36%	64%
4. 令和2年10月から#7119(救急安心センターきょうと)がスタートしたことを知っている。	39%	61%
5. シトラスリボン運動(コロナ感染者に対して「ただいま」「おかえり」といえる関係を築くという運動)を知っている。	19%	81%

毎年 上京区の皆様にアンケートをさせていただき、その結果を全て報告しております。

◆ご意見・ご要望などお気軽にお書きください。